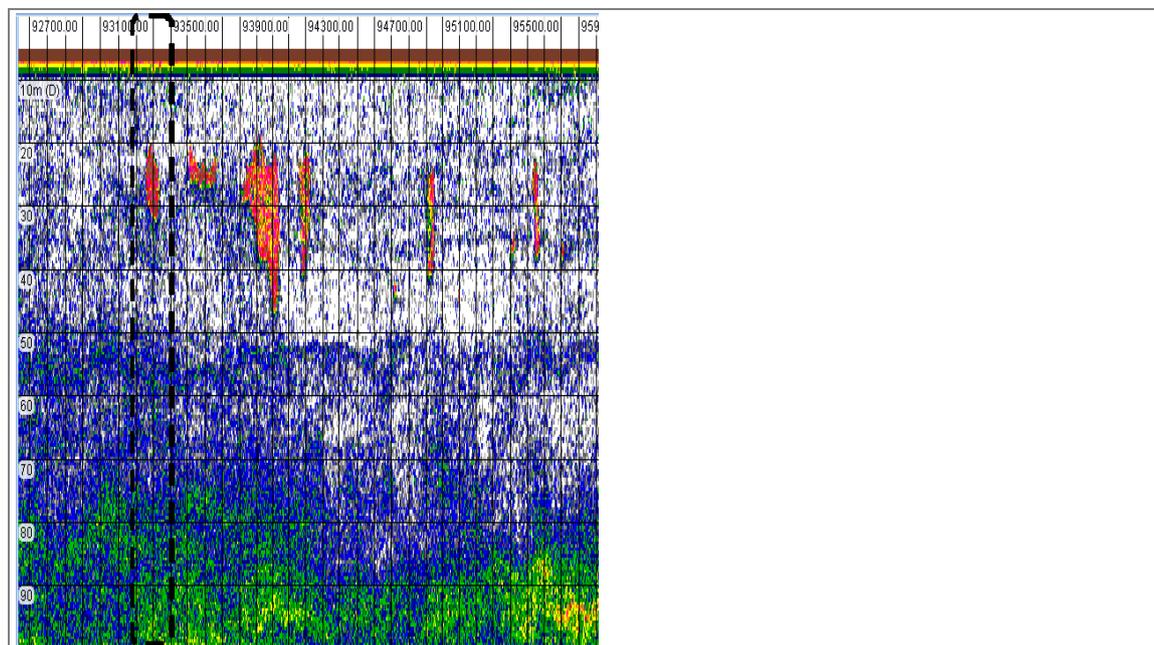


反応構成生物：カタクチイワシ (*Engraulis japonicus*), その他の浮魚類

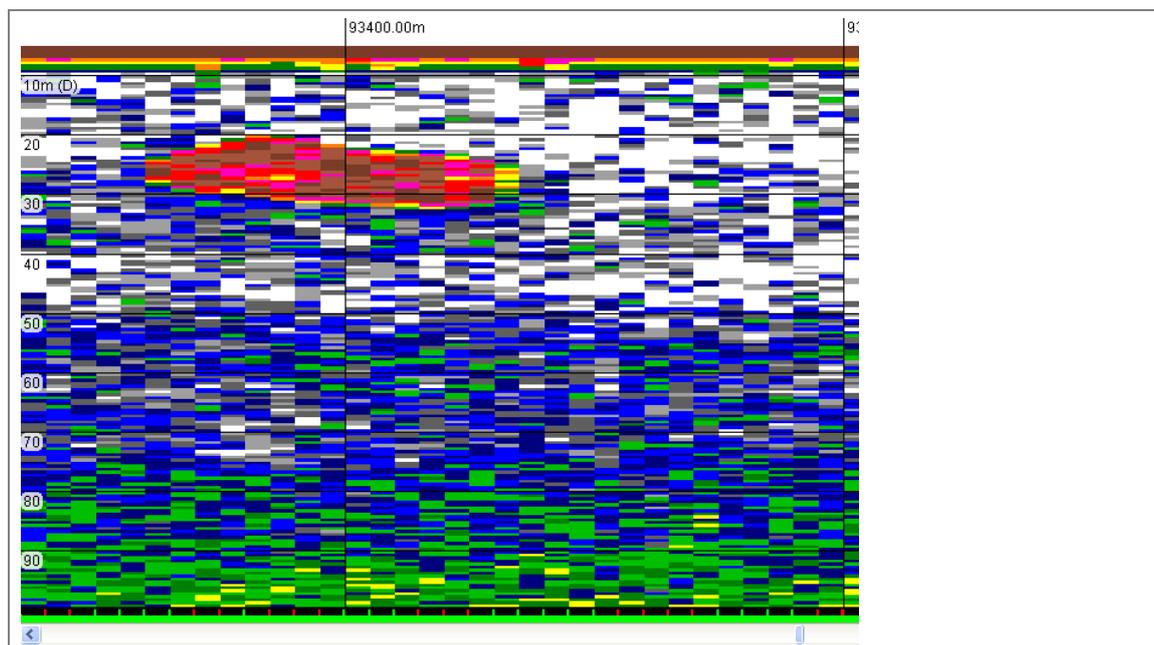
収録日時：2005年8月25日 (昼間)

収録海域：東シナ海, 九州西岸

収録機種・周波数：EK500・38 kHz



Echogram-1 38 kHz



(Echogram-1 黒破線部分を拡大, 縦・横スケールを揃えたもの)

Echogram-2 38 kHz

表示スケール： 縦 100 m / 横 3200 m

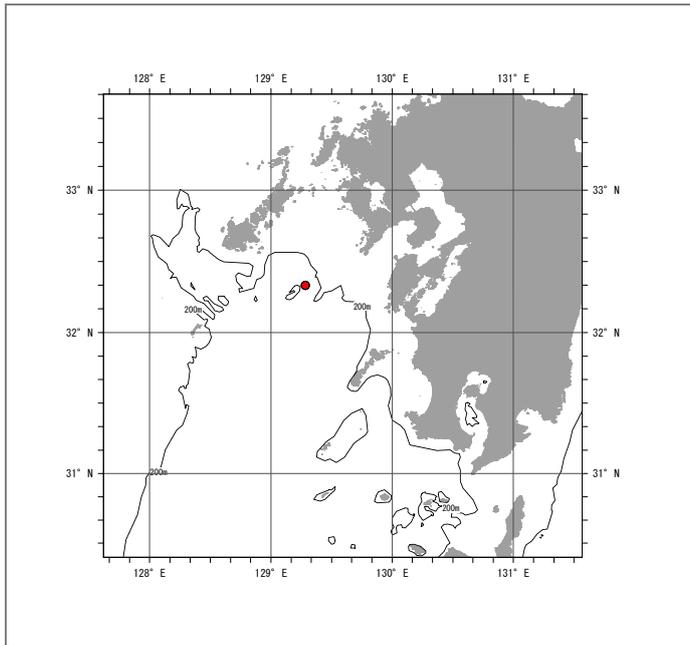
グリッド間隔： 縦 10 m / 横 100 m

表示色・表示 S_v 範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

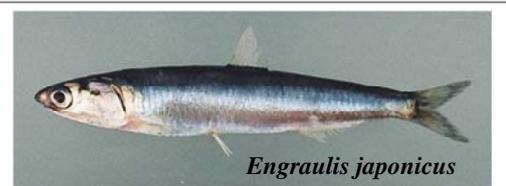
データ提供：西海区水産研究所 (大下誠二),

東京大学大学院農学生命科学研究科 水産資源学研究室 (Aymen Charef), 陽光丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



写真提供：「東北フィールド魚類図鑑」

魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

日中の航走において、反応が確認された海域で夜間トロール曳網を行っている。エコーグラムの収録（日中）とトロールによる魚種確認が行われるまで（夜間）に時間差があることに注意が必要。サンプリングの結果では、カタクチイワシのほか、マアジ、マルアジ、マサバ、ゴマサバ、ウルメイワシが 5 kg 以上採集されているが、エコーグラム中のどの反応がこれらの魚種を反映するものかは不明であるため、エコーグラム上では点線での囲い込みによる反応の特定をおこなっていない。

サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳： カタクチイワシ 36.85 kg, マアジ 37.55 kg, マルアジ 28.1 kg, ゴマサバ 8.4 kg, マサバ 8.4 kg, ウルメイワシ 5.45 kg, オアカムロ 3.7 kg, モロ 0.9 kg, オキアジ 0.55 kg, マイワシ 0.1 kg
(34°49.5 N, 130°25.3 E でのサンプリング)